



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ

上場取引所

東

コード番号 9997

URL <http://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	41,979	2.0	2,476	△13.7	4,517	27.4	2,866	△7.7
30年3月期第1四半期	41,153	10.6	2,870	19.0	3,544	—	3,105	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 3,072百万円(△0.0%) 30年3月期第1四半期 3,073百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	29.48	—
30年3月期第1四半期	31.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	207,405	96,108	45.7
30年3月期	195,946	93,058	47.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 94,757百万円 30年3月期 92,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	5.5	3,800	△10.2	4,100	△25.9	2,800	△35.4	28.80
通期	180,000	11.3	15,000	15.3	15,500	17.0	10,500	8.6	107.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) さが美グループホールディングス(株) 、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期1Q	97,236,456株	30年3月期	97,236,456株
31年3月期1Q	792株	30年3月期	740株
31年3月期1Q	97,235,670株	30年3月期1Q	97,236,328株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外需要の緩やかな回復基調により安定的に推移しており、個人消費においても雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな持ち直しをみせております。一方で、通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）の急成長により市場の拡大は続いているものの、消費者のデフレマインドは根強く、企業間における価格競争の激化や物流コストの上昇など、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は41,979百万円（前年同期比2.0%増）となり、営業利益は店舗販売事業やソリューション事業での減益や総合通販事業でのDMや商品の配送料値上げなどにより2,476百万円（同13.7%減）、経常利益は為替関連損益が大きくプラスに転じたことで4,517百万円（同27.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,866百万円（同7.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

## 〔総合通販事業〕

売上高は22,650百万円（同0.6%増）となりました。また、セグメント利益は原価率が改善した一方で、配送料の値上げなどにより1,295百万円（同16.1%減）となりました。

## 〔専門通販事業〕

化粧品事業の売上が好調だったことにより、売上高は11,179百万円（同5.3%増）となりました。また、セグメント利益は化粧品事業の好調に加え、看護師向け通販事業及び健康食品事業の収益性改善もあり、671百万円（同85.6%増）となりました。

## 〔店舗販売事業〕

アパレル店舗事業で天候不順等の影響により、売上高は3,498百万円（同3.9%減）となりました。また、セグメント利益は和装店舗事業が苦戦したこともあり、62百万円（同62.3%減）となりました。

## 〔ソリューション事業〕

通販代行サービスは堅調に推移したものの、大口クライアントの取引縮小で封入・同送サービスが苦戦したことにより、売上高は1,453百万円（同3.1%減）、セグメント利益は567百万円（同12.1%減）となりました。

## 〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は910百万円（同9.8%増）、セグメント利益は354百万円（同26.7%増）となりました。

## 〔プロパティ事業〕

ホテル事業の売上増加が貢献し、売上高は1,210百万円（同20.1%増）となりました。一方でセグメント利益は新規ホテルの開業に向けた費用の増加等により46百万円（同41.5%減）となりました。

## 〔その他の事業〕

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は1,401百万円（同7.4%増）となりました。一方でセグメント損失は170百万円（前年同期は144百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末比3,174百万円増加し、93,163百万円となりました。これは主に商品及び製品が3,377百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比8,285百万円増加し、114,242百万円となりました。これは主に建物及び構築物が772百万円、土地が4,691百万円、建設仮勘定が765百万円、その他投資が1,906百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比11,459百万円増加し、207,405百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末比8,833百万円増加し、51,165百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,826百万円、短期借入金が2,622百万円、その他流動負債が2,166百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比424百万円減少し、60,131百万円となりました。これは主に長期借入金が349百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比8,408百万円増加し、111,297百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末比3,050百万円増加し、96,108百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日の公表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,747	19,430
受取手形及び売掛金	10,009	11,835
営業貸付金	20,814	21,393
有価証券	424	473
商品及び製品	17,975	21,353
原材料及び貯蔵品	1,252	661
販売用不動産	3,871	3,839
仕掛販売用不動産	5,447	5,568
その他	7,977	9,162
貸倒引当金	△530	△554
流動資産合計	89,989	93,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,126	23,898
機械装置及び運搬具（純額）	723	718
工具、器具及び備品（純額）	359	502
土地	38,496	43,188
リース資産（純額）	278	245
建設仮勘定	12,565	13,330
有形固定資産合計	75,549	81,884
無形固定資産		
のれん	2,693	2,715
リース資産	896	802
その他	8,146	8,406
無形固定資産合計	11,737	11,924
投資その他の資産		
投資有価証券	14,271	14,423
長期貸付金	1,170	1,266
破産更生債権等	255	260
繰延税金資産	1,270	1,019
その他	2,268	4,174
貸倒引当金	△565	△711
投資その他の資産合計	18,670	20,433
固定資産合計	105,956	114,242
資産合計	195,946	207,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,381	22,207
短期借入金	7,652	10,274
未払費用	8,974	9,713
リース債務	505	496
未払法人税等	2,010	1,743
賞与引当金	714	433
返品調整引当金	86	112
ポイント引当金	560	571
その他	3,445	5,611
流動負債合計	42,331	51,165
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,472	45,123
利息返還損失引当金	726	717
リース債務	702	581
退職給付に係る負債	33	225
役員退職慰労引当金	258	258
資産除去債務	523	922
その他	2,840	2,303
固定負債合計	60,556	60,131
負債合計	102,888	111,297
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	10,958	10,958
利益剰余金	71,809	74,068
自己株式	△0	△0
株主資本合計	93,374	95,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,295	1,287
為替換算調整勘定	△2,292	△2,129
退職給付に係る調整累計額	△33	△33
その他の包括利益累計額合計	△1,029	△875
非支配株主持分	713	1,350
純資産合計	93,058	96,108
負債純資産合計	195,946	207,405

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月30日)
売上高	41,153	41,979
売上原価	17,939	17,948
売上総利益	23,214	24,031
返品調整引当金繰延差額	23	25
差引売上総利益	23,191	24,005
販売費及び一般管理費	20,320	21,528
営業利益	2,870	2,476
営業外収益		
受取配当金	93	161
為替差益	247	275
デリバティブ評価益	294	1,434
その他	296	246
営業外収益合計	932	2,118
営業外費用		
支払利息	31	38
支払手数料	1	3
店舗閉鎖損失	118	-
支払補償費	53	-
その他	53	35
営業外費用合計	257	76
経常利益	3,544	4,517
特別利益		
固定資産売却益	987	-
投資有価証券売却益	14	-
特別利益合計	1,001	-
特別損失		
有価証券評価損	82	-
投資有価証券評価損	233	-
為替換算調整勘定取崩損	20	-
特別損失合計	337	-
税金等調整前四半期純利益	4,209	4,517
法人税、住民税及び事業税	992	1,492
法人税等調整額	116	163
法人税等合計	1,108	1,656
四半期純利益	3,101	2,861
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,105	2,866



## 四半期連結包括利益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月30日)
四半期純利益	3,101	2,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	△8
為替換算調整勘定	△118	219
退職給付に係る調整額	△1	0
その他の包括利益合計	△27	211
四半期包括利益	3,073	3,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,088	3,040
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	32

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	22,391	10,579	3,641	1,418	829	1,002	1,292	—	41,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	118	33	—	81	—	5	12	△250	—
計	22,509	10,612	3,641	1,499	829	1,007	1,304	△250	41,153
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,543	361	164	645	279	78	△144	△59	2,870

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳72百万円とのれん償却費△132百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	22,459	11,151	3,498	1,369	910	1,205	1,384	—	41,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	190	27	—	83	—	5	16	△324	—
計	22,650	11,179	3,498	1,453	910	1,210	1,401	△324	41,979
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,295	671	62	567	354	46	△170	△351	2,476

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳△219百万円とのれん償却費△132百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。